

第2版のはじめに

『ていねいな保健統計学 第2版』を手にとっていただき、ありがとうございます。
本書は統計学の土台となる考え方の道筋を「ていねい」に示した教科書です。

著者らは医療系大学で保健統計学の教育に携わっています。教育を行っていくなかで感じたことは、統計学の入門書とされる本の多くが、数式の意味や使用法を適切に読み取る力を要求しているため、初学者には難しいということです。そのため、数式をできるだけ使わず、統計学の基本的な考え方を伝える本をまとめようと考えました。

本書では、基礎的な内容の解説に多くのページを割いています。特にデータの中心を表わす平均値、バラツキを示す標準偏差などについてしっかり理解することで、全体的な理解が深まると考え、これらの解説に注力しました。数学を苦手を感じる方にもわかりやすい内容になったと自負しています。

また、保健統計学は「公衆衛生学」、「疫学」、「看護研究」など多くの科目にかかわる学問です。これらの授業にも活用できる教科書とし、**看護師・保健師国家試験にも対応**させました。本書を読み進めていくことで、過去の国家試験問題と少し異なる問題についても正解の理由を説明できるようになります。

おかげさまで、本書は多くの教育機関で採用いただいております。より新しい情報をお伝えするため、第5・6章の統計を更新した第2版を出版することとなりました。第1～4章についても内容を見直し、より正確な記述となるように修正を加えました。本書の刊行にあたり、ご尽力をいただきました担当編集者の中川由香様、内容の理解を後押しするイラストを作成していただきました足達智様、ご協力をいただきましたすべての関係者の方々にこの場をお借りして心より感謝の意を表します。本書が、統計学を学ぶすべての方の力となることを、ここ埼玉県毛呂山の地より祈っております。

2022年10月

白戸亮吉
鈴木研太